

名フィル  
Nagoya Philharmonic Orchestra

名古屋フィルハーモニー交響楽団  
Since 1966

502<sup>nd</sup> 定期演奏会

Nagoya Philharmonic Orchestra The 502nd Subscription Concert

2022.4-2023.3シーズン  
「シンフォニスト」シリーズ  
2022.4-2023.3 Season "Symphonist" Series  
ブルックナー



アントニ・ヴィット (指揮) Antoni WIT, Conductor



小菅優、居福健太郎 (ピアノ)\*  
KOSUGE Yu & IFUKU Kentaro, Piano



窪田健志、ジョエル・ビードリツキー  
(打楽器/名フィル首席奏者)\*  
KUBOTA Takeshi & Joel BIEDRZYCKI, Percussion / Principal Player

日時 2022年6月10日(金) 18:45 開演 | 11日(土) 16:00 開演

6:45pm, Friday June 10 / 4:00pm, Saturday June 11, 2022  
※開場は各日も開演の60分前

会場 愛知県芸術劇場  
コンサートホール  
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

バルトーク: 2台のピアノと打楽器のための協奏曲 Sz.115\*

Bartók B.: Concerto for Two Pianos and Percussion, Sz.115

ブルックナー: 交響曲第6番イ長調 [ノヴァーク版]

A. Bruckner: Symphony No.6 in A major [ed. L. Nowak]

! 名フィル公式ウェブサイトにて公開している「新型コロナウイルス感染症対策とお客様へのお願い」をご確認の上、ご購入ください。

料金

1回券(税込)  電子チケットの取扱いを始めました

S席: ¥7,400 / A席: ¥6,400 / B席: ¥5,200 / C席: ¥4,200 / D席: ¥3,200 / Y席: ¥1,000 (25歳以下対象・当日券のみ)

※車椅子席あり(車椅子利用者及び介添人1名まで対象/¥5,120)

割引

いきいき割引(S-D席を20%割引): 65歳以上または障害者手帳所持者(介添人1名含)対象

ユース割引(S-C席を50%割引): 25歳以下対象

発売日 2022年4月21日(木) 9:00

お申込み  
お問合せ

名フィル・チケットガイド(9:00~17:30/土日祝休) Tel.052-339-5666

www.nagoya-phil.or.jp

名フィル

検索

主催: 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

後援: 愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・朝日新聞社・メ〜テレ

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人  
アフィニス文化財団



名フィルはSDGsに取り組んでいます。

ポーランドが誇る巨匠ヴィットは、自国の音楽のスペシャリストとして絶大な評価を勝ち得ていますが、レパートリーは広く、かねてからブルックナーへの意欲を燃やしていました。名フィルがブルックナー6番を演奏するのは、四半世紀ぶり2度目。バルトークでは、小菅十居福夫妻と窪田+ジョエルの首席コンビ(居福+窪田は藝大同級生)の共演が実現します。



アントニ・ヴィット (指揮) Antoni WIT, Conductor

最も偉大なポーランド人指揮者の一人であり、ポーランド音楽の権威として知られている。1971年のカラヤン国際指揮者コンクールで最高位入賞を果たし、ザルツブルク復活音楽祭でカラヤンのアシスタントを務めた。その後国内主要オーケストラで要職を歴任し、2001年からは12年間にわたりワルシャワ国立フィルの総監督・芸術監督を務めている。国外においても国際的なキャリアを築いており、ベルリン・フィル、クリーヴランド管、ブダペスト祝祭管、ドレスデン・シュターツカペレ、サンクトペテルブルク・フィルなどの主要オーケストラに客演。これまでに200枚を超えるCDをリリースしており、グラミー賞のほか様々な賞を受賞している。

小菅優 (ピアノ)

KOSUGE Yu, Piano



2005年カーネギーホールで、翌2006年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤等の指揮でベルリン響等と共演。2010年ザルツブルク音楽祭でボゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。現在は様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」に取り組み。2014年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年に第48回サントリー音楽賞受賞。

居福健太郎 (ピアノ)

IFUKU Kentaro, Piano



東京藝術大学、同大学院修士課程修了。これまでに東京交響楽団、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、仙台フィル、セントラル愛知響などと共演。「題名のない音楽会」等のメディア出演、都民芸術フェスティバルオーケストラシリーズのソリスト出演、東京・春・音楽祭、アフィニス夏の音楽祭等に参加し、国内外で充実した演奏活動を続けるほか、室内楽奏者としても多くの奏者から強い信頼を得ている。現在東京藝術大学ピアノ科非常勤講師及び同大学音楽科演奏研究員。

窪田健志 (打楽器/名フィル首席奏者)

KUBOTA Takeshi, Percussion / Principal Player



大阪生まれ。東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。PMF、小澤征爾音楽塾、宮崎国際音楽祭等に参加。芸大フィル、名フィル等と協奏曲を共演。2013年からリサイタルを再開、東京オペラシティ「B→C」やムジカーザ主催公演に委嘱曲と共に出演。青山音楽賞、文化庁芸術祭優秀賞等を受賞。今年も東名阪にて開催予定。2020年にソロCDを発売、レコード芸術誌にて特選盤に選出。菊里高校音楽科、名古屋音楽大学の各講師も務める。趣味はタップダンス。

ジョエル・ビードリッツキ (打楽器/名フィル首席奏者)

Joel BIEDRZYCKI, Percussion / Principal Player



アメリカ、ニューハンプシャー州出身。ニューハンプシャー大学音楽学部、リン音楽大学院修了。N.スミス(ポर्टランド交響楽団首席打楽器)、E.アトキヤツ(元シカゴ交響楽団首席打楽器)に師事。これまでにタングルウッド音楽祭、PMF音楽祭など多数の音楽祭に参加。2011年から2014年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団ティンパニ・打楽器奏者として在籍。2014年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、現在首席打楽器奏者を務める。

⚠️ ご注意

- ※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
- ※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付しておりません。
- ※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
- ※開演後は入場制限がございますので、時間に余裕を持ってご来場ください。
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により、各種プレイガイドへのチケット委託および託児サービスは休止しております。

愛知県芸術劇場コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2  
愛知芸術文化センター4F

www.aac.pref.aichi.jp

市営地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩3分 名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分  
※いずれもオアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由

皆様へのご来場へのお願い

<p>マスクを着用の上ご来場ください。</p>	<p>発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。</p>	<p>入場時の検温にご協力ください。37.5度以上の発熱がある場合は入場をお断りさせていただきます。</p>	<p>手洗い・手指の消毒にご協力ください。</p>	<p>入退場時、トイレ等会場内での社会的距離の確保をお願いいたします。</p>	<p>会場内での不要な会話は控えいただき、終演後の「ブラボー」等の掛け声はご遠慮ください。</p>	<p>チケットのご購入者ごと来場者が異なる場合は前日までにご連絡ください。</p> <p>購入者 連絡は 052-339-5666 まで</p>	<p>新型コロナウイルス感染症確認アプリ(COCOA)のインストールをお願いいたします。</p>
-------------------------	--------------------------------	--	---------------------------	---	---	--	--

◀◀◀◀ 「新型コロナウイルス感染症対策とお客様へのお願い」はこちらから

● 公益財団法人アフィニス文化財団による助成《アフィニス エンブレム》について

「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

┆ 選考理由 ┆

2016年と2019年に名フィルとセンセーショナルな共演を果たした、ポーランドの名匠ヴィットが再び登場。堅実な音楽性ながらも、味わい深い個性を宿すマエストロによる、中身がぎっしり詰まったブルックナーが堪能できるに違いない。さらに、名フィルならではの自発性があり、このオーケストラがもつ鮮烈な一面を十二分に発揮されるのではないかと期待される。小菅と居福の夫婦デュオを迎えてのバルトークの協奏曲も、驚異的な完成度に期待大。

鈴木淳史(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員)